

「北部福岡緊急連絡管事業」について

宗像支部 宮園直美

1. 目的

災害に強く、水に不安のない都市圏とするため、北九州市と福岡都市圏を結ぶ「水道用水の緊急時連絡管」を整備する。

これは、先の福岡県西方沖地震のような自然災害及びテロ、施設事故等に対する危機管理対策であり、緊急時に水道用水の相互融通を行うことにより、水という最も基本的なライフラインの確保を図るものである。

2. 経緯

H14.12.24 トップ会談（知事、両政令市長）

北九州市と福岡都市圏とで広域利水を図るため、県、北九州市、福岡都市圏とで協議会を設立。導水構想に関する具体的な課題について検討することで合意。

H15.3.26 「北部福岡広域水利用協議会」設置

委員会3回、幹事会12回を開催し、検討を重ねた。

H17.6.8 トップ会談（知事、両政令市長）

福岡県西方沖地震を契機に北部福岡緊急連絡管事業の設置に向けて検討することで合意。

3. 事業概要

北九州市（本城浄水場）と福岡都市圏（下原配水池）を結ぶ緊急連絡管とその維持用水を活用した水道用水供給事業を合併し、北部福岡緊急連絡管事業として実施する。

送水管：総延長 約47km

本城浄水場～垂見調整池

φ 900 mm L ≒ 19km

垂見調整池～下原配水場

φ 900 mm L ≒ 28km

送水ポンプ：本城浄水場、下原配水場に設置。

調整池：垂見調整池 1箇所

緊急時送水量：双方向緊急時最大5万m³/日

用水供給量：北九州市から最大2万m³/日

宗像市へ最大1万m³/日

福津市へ最大3千m³/日

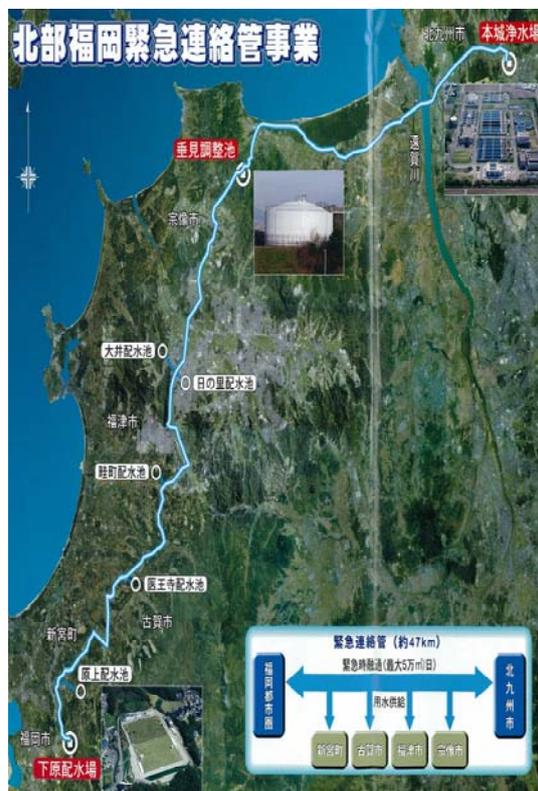
古賀市へ最大3千m³/日

新宮町へ最大4千m³/日

実施主体：福岡県・北九州市

実施期間：平成18年度着工、

平成22年度供用開始予定



4. 実施体制

北九州市

- ・連絡管：設計及び工事 L=5.1km
- ・ポンプ場：実施設計及び工事 N=2 箇所
- ・受水地点設備等：1 式

福岡県

①建設室（県庁）

- ・関係機関との調整及び事業室の総合調整

②北九州土木事業室

- ・連絡管：実施設計及び工事 L=13.2km
- ・水管橋：実施設計及び工事 N=1 箇所

③宗像土木事業室

- ・連絡管：実施設計 L=19.9km
- ・調整池：実施設計及び工事 N=1 箇所

④福岡土木

- ・連絡管：実施設計 L=11.4km

5. 進捗状況

平成18年度 事業費 3.5 億円

	計	北九州市	北九州土木	宗像土木	福岡土木
基本設計	3 工区		2 工区	1 工区	
実施設計	14 工区	2 工区	3 工区	6 工区	3 工区
地質調査	3 工区		1 工区	2 工区	
開削工事	0.9 km			0.9 km	

平成19年度（予定）事業費 34.5 億円

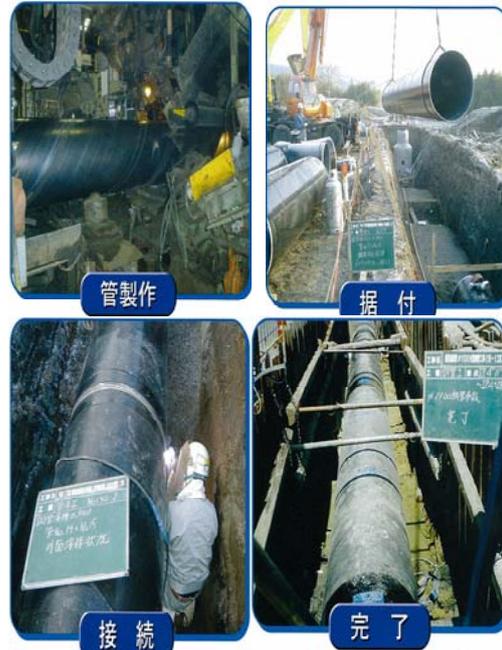
	計	北九州市	北九州土木	宗像土木	福岡土木
基本設計	1 工区				1 工区
実施設計	1 工区	4 工区		5 工区	2 工区
地質調査	4 工区		2 工区	1 工区	1 工区
開削工事	14.3 km	3.0 km	3.9 km	5.2 km	2.2 km

6. おわりに

今回の事業は、約 4.7 km に及ぶ大口径送水管を短期間に整備するものである。

今後、北九州土木事務所、福岡土木事務所と連携し、平成 22 年度供用開始を目指し、努力していききたいと思います。

工事の流れ



* 宗像土木事務所緊急連絡管建設事業室